

気候変動の認識

気温の上昇や水不足など、世界的な気候変動に対する懸念が増大しています。

アイカグループでは、持続可能社会に向けて、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、温室効果ガス・産廃・水使用の削減、生物多様性の保全、揮発性有機溶剤の排出抑制、化学物質管理の徹底、社会課題解決商品の開発・拡販、CSR 調達への積極的取組に注力します。

業績に大きな影響を及ぼす可能性がある事柄として、以下を想定しています。

環境規制リスク・・・気候変動対策や化学物質使用・環境保全面での規制強化に伴う影響
大規模災害リスク・・・BCP（事業継続計画）を作成し、毎年対策を講じ訓練を行っているが、予想を越える事態が発生した場合の影響

<気候変動を回避するための施策>

自社で管理できる温室効果ガスの排出抑制を進め、原料製造段階や使用エネルギーの生成段階及び輸送での排出を監視し、環境投資枠を中期的に検討していきます。

<中長期目標：温室効果ガス排出削減>

パリ協定に合わせて、2030 年までに売上原単位を 2013 年度に比べて 26%削減することを目指します。